イネリーグ®
1キロ粒剤

イネを守る実績の3成分、イネリーグ®の除草が頼もしい！

新発売

- 実績ある3成分を混合した初・中期一発処理除草剤
- 広い散布適期幅
- 幅広い殺草スペクトラム
- 難防除多年生雑草、SU抵抗性雑草、特殊雑草にも高い除草効果
- 田植同時・直播水稲にも使える高い安全性

製品情報の詳細はこちらから

AVH-301

®イネリーグはバイエルグループの登録商標

水稲用初・中期一発処理除草剤

イネリーグ® 1キロ粒剤

●農林水産省登録：第24007号
●有効成分：クロメプロップ……4.5%　除草剤分類 4
テフリルトリオン……3.0%　除草剤分類 27
フェントラザミド……3.0%　除草剤分類 15
●毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

特長

1. **3成分で高い除草効果**
2. **広い散布適期幅**（田植同時～ノビエ3葉期）
3. **ノビエへの高い除草効果**（殺草効果・残効性）
4. **SU抵抗性雑草に対する高い除草効果**（ホタルイ・コナギ・アゼナ等）
5. **特殊雑草に対する高い除草効果**（クサネム・イボクサ）
6. **水稲に対する高い安全性**（田植同時散布可能）
7. **直播水稲に使用可能**（イネ1葉期～ノビエ2.5葉期）
8. **無人航空機による処理可能**

適用雑草と使用方法

2022年10月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量	使用回数 *	使用方法
移植水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ	移植時	1kg	本剤 1回 クロメプロップ 2回 テフリルトリオン 2回 フェントラザミド 1回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 または 無人航空機による散布
直播水稲	一年生雑草 および マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。
●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲についてはノビエの3葉期までに、直播水稲についてはノビエの2.5葉期までに、時期を失しないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは3葉期まで、ミズガヤツリ、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。また、コナギは3葉期までが散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。
●散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。
●無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。
① 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
●散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行って下さい。
●浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。
●以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。
① 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm／日以上）
② 軟弱苗を移植した水田
③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
●稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。
●著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけて下さい。
●散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。
●本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意して下さい。
●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
●誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
●散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。
●水産動植物（藻類）に影響をおよぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用して下さい。
●無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して下さい。
●散布後は水管理に注意して下さい。
●散布器具の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。　●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。　●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

JAグループ
農協 全農 経済連
全農は登録商標　第4702318号

バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 https://cropscience.bayer.jp/
お客様相談室 0120-575-078 9:00～12:00,13:00～17:00 土日祝日および会社休日を除く

F-3278 22.10.IS